

加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

番号	事業名	所管課	頁
1-1	地域子ども教室	生涯学習課	P. 1
1-2	日本木管コンクール	(財)加東文化振興財団	P. 1
1-3	語学（英語）指導員派遣事業	学校教育課	P. 1
1-4	国際交流事業	企画政策課	P. 2
1-5	Bio行政サービス事業	秘書広報課	P. 2
1-6	土地改良事業補助金	農村整備課	P. 2
1-7	勤労者住宅資金対策事業	地域振興課	P. 3
1-8	J A 営農部会営農指導活動事業	農林課	P. 3
2-1	訪問介護事業（高齢者・障害者）	社会福祉課	P. 3
2-2	敬老会事業	高齢介護課	P. 4
2-3	障害児等保育事業 ①コーディネーター育成 ②補助金	子育て支援課	P. 4
2-4	加東サンサンチャレンジ	健康課	P. 5
2-5	資源ごみ集団回収運動奨励金	生活課	P. 5
2-6	交通災害共済事業	防災課	P. 5
2-7	市税等徴収員及び納税相談員設置事業	税務課	P. 6
2-8	生活道路整備補助金	土木課	P. 6

平成24年3月

加東市企画部企画政策課

■加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

事業番号	事業名／所管課／評価結果	事業仕分け委員等の主なコメント	市の対応方針／今後の事業のあり方	事業費（予算額等）の比較／備考																
1-1	<p>地域こども教室</p> <p>／生涯学習課</p> <p><input type="checkbox"/> 不 要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 再検討・見送り (5)</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・広域</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市要改善</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市現行どおり</p>	<p>●アフタースクールとの一本化を再度検討し、続けることが大切だと感じる。開設日数も少ない。ニーズの把握は十分にできているか？</p> <p>●文部科学省事業（地域子ども教室）と厚生労働省事業（放課後児童クラブ）の区分けに自治体が縛られている典型例。子どもの目線、家庭の目線から考えて、両事業の効果的な連携を市が率先して提案し、実行することを目指すべきではないか。</p> <p>●市民に直結し、市民と対峙する現場行政は、市民（この場合は児童）本位であるべき。市の部局を越えて再検討すべき。</p> <p>●参加者が全対象者に対して少ない。鍵っ子対策としてはアフタースクールが定着している。子ども教室に積極的な指導者があり、対象の子どもがその校区で2割以上ある校区のみを存続させてはどうか。市内一律の制度維持は困難。</p>	<p>●教室（会場）単位での最少遂行人数を決めて、次年度の実施に反映していきます。</p> <p>●参加人数の少ない滝野公民館教室を廃止し、他の会場で実施することとします。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,441</td> <td>4,401</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,441</td> <td>4,401</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H23	H24	効果額	事業費	4,441	4,401	40	人件費	0	0	0	計	4,441	4,401	40
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	4,441	4,401	40																	
人件費	0	0	0																	
計	4,441	4,401	40																	
1-2	<p>日本木管コンクール</p> <p>／(財)加東文化振興財団</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 不 要 (4)</p> <p><input type="checkbox"/> 再検討・見送り</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・広域</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市要改善 (1)</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市現行どおり</p>	<p>●税金を使う以上、少なくとも中・長期的には市へ何らかの形で還元すべき。その観点での検証が必要。入場者数が300人／4日では、市民に根ざしているとは言えない。地域振興との連携を市の主導でとるべき。</p> <p>●こうした文化事業は、成果や効果の検証が難しいが、それだけに一層税金を使うことの正当性を厳しく問うことが必要。財団や担当の想いだけで続けるのは危険である。</p> <p>●旧東条町時代にスタートしたが、加東市が実施する必然性はあるか？</p> <p>●開催地に住んでいながら、税金が使われているにも関わらず、このコンクールが開催されていることすら知らない市民が多いと思うので、もっと知っていただく努力をしたほうが良い。</p>	<p>●24年度は、運営費を見直すとともに賛助金を募るなど税の持ち出しを縮減し、開催することとします。</p> <p>●25年度以降は、事業仕分けで指摘された課題について検討し、事業の方向付けをしていきます。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>3,310</td> <td>2,554</td> <td>756</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,310</td> <td>2,554</td> <td>756</td> </tr> </tbody> </table> <p>※市の負担額を比較 ※コンクールそのものの事業費は、平成23年度当初予算で、9,273千円</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	3,310	2,554	756	人件費			0	計	3,310	2,554	756
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	3,310	2,554	756																	
人件費			0																	
計	3,310	2,554	756																	
1-3	<p>語学（英語）指導員派遣事業</p> <p>／学校教育課</p> <p><input type="checkbox"/> 不 要</p> <p><input type="checkbox"/> 再検討・見送り</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・広域 (2)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (3)</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市現行どおり</p>	<p>●一定の質が確保されているとすれば、現状のまま実施することも現実的とは思わない。ただ、本来、国の責任で英語教育を進めていくことが義務教育の基本であると考えている。</p> <p>●事業の目標設定がおかしいのでは？児童の成績が具体的にどう良くなり、また、例えば発音がどう良くなったのか等、成果をきちんと把握すべき。単に、国の方針にのっとるといふ姿勢では、効果は望めない。</p> <p>●小学生にはALTよりも、英語の堪能な日本人を派遣するなどして、外国語に慣れてもらうようにしたら？</p> <p>●少なくとも事業費は半減すべきである。また、国際交流事業と連携できないか？</p>	<p>●外国人と接し、外国人から異なる文化を学ぶとともに、外国の生活や習慣等に関心を持つことが事業の目的の一つであることから、英語に堪能な日本人の活用は考えていません。</p> <p>しかし、ALTを業務委託により確保している現状から、高い資質や能力を持った優秀なネイティブスピーカーを地元で確保し、教育委員会で直接雇用することを検討していきます。</p> <p>●今後は、小学校外国語活動及び中学校英語科の授業をより充実し、成果を適切に評価するとともに、市の国際交流事業などと連携しながら、国際理解教育を進めていきます。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>20,059</td> <td>20,060</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>880</td> <td>880</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,939</td> <td>20,940</td> <td>△1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費の違いは、端数処理による。 ※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	20,059	20,060	△1	人件費	880	880	0	計	20,939	20,940	△1
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	20,059	20,060	△1																	
人件費	880	880	0																	
計	20,939	20,940	△1																	

■加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

事業番号	事業名／所管課／評価結果	事業仕分け委員等の主なコメント	市の対応方針／今後の事業のあり方	事業費（予算額等）の比較／備考																
1-4	国際交流事業 ／企画政策課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り (2) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (3) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	<p>●これまでの国際交流事業の方向性を改め、学校教育との連携を図ろうとしていること。そのために役所の中でも議論を始めたことは評価できる。一方、この方向性を進めるには、現実の国際交流事業のあり方、市事業と協会事業との区割りの変更なり組み換えなど、仕組みの大幅な改革が必要。教育委員会や教育現場との調整を丁寧に行うことが重要である。</p> <p>●協会の自立であれば、事務局は市が持たないこと。補助金の成果等を市民に公開すること。</p> <p>●なぜ、教育にこだわるのか。市民への国際意識の浸透であれば、まずは多くの市民に参加してもらえる手法、手段をとるべきでは？</p> <p>●将来は、国際交流協会をNPO法人化し、小・中学校のALTを請負うなど、事業の内容と事業費を拡大すれば良い。</p>	<p>●国際交流を市の独自性として捉え、「教育のまち加東」実現のための教育分野の交流を柱に、姉妹都市と市政全般について情報を交換し、実質的なまちの国際化を進めていきます。</p> <p>そのために、学校や教育委員会、兵庫教育大学との情報交換の場を設け、語学（英語）指導員派遣事業の成果の活用も含めて、全校での国際理解教育（事業）がスムーズに実施されるように取り組んでいきます。</p> <p>●国際交流協会は、市民の理解を得て、市民から支えられた活動を行い、社会的信用が高まる法人化に向けて取り組んでいきます。</p>	（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>3,170</td> <td>2,770</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>3,015</td> <td>3,015</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,185</td> <td>5,785</td> <td>400</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	3,170	2,770	400	人件費	3,015	3,015	0	計	6,185	5,785	400
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	3,170	2,770	400																	
人件費	3,015	3,015	0																	
計	6,185	5,785	400																	
1-5	Bio行政サービス事業 ／秘書広報課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討・見送り (3) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 加東市要改善 (2) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	<p>●何のための拠点か。サービス対象や目的が不明確である。</p> <p>●利用者のリサーチが必要である。</p> <p>●市民への認知度向上とコーナーを更に有効活用する。</p> <p>●土・日曜日が一番集客があるにも関わらず、土・日曜日に担当者が配置されていないのはおかしい。</p>	<p>●市が活用できる有効なスペースであることから、コーナーを廃止するのではなく、より良い活用方法を検討し、実施します。</p> <p>●ショッピングパーク来場者へのアンケート調査により市民が求めるサービスを把握します。</p> <p>●国や県などの情報発信、PR基地としての活用の可能性を関係機関に問い合わせ、検討します。</p> <p>●加東伝の助や市の特産品のPRコーナーとしての活用を検討します。</p> <p>●休日の相談業務の実施を検討します。</p> <p>○コーナーでの物品販売は、組合への加入を必要としますが、月1回、2時間程度の「伝の助グッズの販売」などスポット的な活用は、費用負担なしで可能</p>	（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>136</td> <td>127</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>972</td> <td>972</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,108</td> <td>1,099</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	136	127	9	人件費	972	972	0	計	1,108	1,099	9
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	136	127	9																	
人件費	972	972	0																	
計	1,108	1,099	9																	
1-6	土地改良事業補助金 ／農村整備課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り (2) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (3) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	<p>●市の調査に基づいて、緊急性の高いものや影響度が大きいものにプライオリティを付けて、まず、中期的な計画を立てるべき。緊急性が高いものが多ければ、必ずしも毎年500万円の予算に縛られる必要はなく、必要性に応じた予算額にすべき。（台風など突発的なものは補正で対応する。）</p> <p>●農業生産基盤整備ということであれば、農業のビジョン（何に重点を置くのかなど）がなければ、税の使い方の説明責任として優先順位がつけられないのでは。</p> <p>●土地改良区の中・長期の修繕計画が必要である。</p>	<p>●22年度に実施したほ場整備区域内の用水路の劣化状況を基に、地区単位で中・長期的な年次計画を策定し、地元自治会等と調整しながら計画的に、改修・改善していきます。</p> <p>●23年度からの「農地・水保全管理交付金（向上活動）」対象地区については、当該交付金により改修・改善していくことを基本とし、向上活動の対象地区以外を当該事業で改修・改善していきます。</p>	（単位：千円） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>5,000</td> <td>5,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,760</td> <td>1,760</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,760</td> <td>6,760</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	5,000	5,000	0	人件費	1,760	1,760	0	計	6,760	6,760	0
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	5,000	5,000	0																	
人件費	1,760	1,760	0																	
計	6,760	6,760	0																	

■加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

事業番号	事業名／所管課／評価結果	事業仕分け委員等の主なコメント	市の対応方針／今後の事業のあり方	事業費（予算額等）の比較／備考																
1-7	勤労者住宅資金対策事業 ／地域振興課 <input checked="" type="checkbox"/> 不要 (3) <input type="checkbox"/> 再検討・見送り (2) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 加東市要改善 <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	●勤労者福祉の観点からは、民間実施でよい。定住化施策ならば、他の施策と複合的に展開すべき。 ●企業誘致や定住促進の中で、この制度が効果的なのかどうかを検証すべき。他の制度や政策のほうが効果が大きいと考えられる。いずれにせよ、一旦立ち止まって、政策全体の中で必要性やあり方の再検討を。	●現在の利用者に対する預託金の枠を維持するのものとします。（新たな融資あつせんをしない。）	(単位：千円) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>90,000</td> <td>75,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>88</td> <td>88</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>90,088</td> <td>75,088</td> <td>15,000</td> </tr> </table> ※人件費は、両年度で同じとする。	区分	H23	H24	効果額	事業費	90,000	75,000	15,000	人件費	88	88	0	計	90,088	75,088	15,000
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	90,000	75,000	15,000																	
人件費	88	88	0																	
計	90,088	75,088	15,000																	
1-8	J A 営農部会営農指導活動事業 ／農林課 <input type="checkbox"/> 不要 (1) <input checked="" type="checkbox"/> 再検討・見送り (2) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 加東市要改善 (2) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	●成果をあげた部会には支援するようなインセンティブを与えていかないと、毎年ありきの補助金となる。 ●補助金が何に使われているかも分からずに、ズルズルと補助し続けるのはやめるべき。「地産地消」は重要だが、営農指導ではなく別の施策で進めるべき。 ●補助金は、事業に対して支出し成果を求めるべきもの。成果も不明ということでは、補助金の意味なし。	●補助の目的が達成できるように、補助金の交付を、活動実績に応じた出来高による交付に改めます。	(単位：千円) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>2,000</td> <td>1,950</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>920</td> <td>920</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,920</td> <td>2,870</td> <td>50</td> </tr> </table> ※人件費は、両年度で同じとする。	区分	H23	H24	効果額	事業費	2,000	1,950	50	人件費	920	920	0	計	2,920	2,870	50
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	2,000	1,950	50																	
人件費	920	920	0																	
計	2,920	2,870	50																	
2-1	訪問介護事業（高齢者・障害者） ／社会福祉課 <input type="checkbox"/> 不要 <input checked="" type="checkbox"/> 再検討・見送り (3) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 加東市要改善 (2) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	●訪問介護事業の方向性を明確にし、将来的には民間に委ねるべきだと考える。 ●障がい者介護を民間へ移行するステップの検討を、予算を確保しても実施すべき。何年かかけて移行するプランを作成し、理解を得ていく努力を期待します。 ●社会福祉協議会に事業を移行すべき。	●事業の利用者がある現状から、直ちにサービスは廃止できませんが、加東市と同様のサービスを提供している自治体と情報交換しながら、民間事業所の育成と平行して、事業の縮小・廃止、民間事業所への移行を検討し、実施します。 また、受け皿となる民間事業所の一つとして、社会福祉協議会と事業の実施について協議していきます。 ※民間移行の問題点としては、障害者に対するサービス単価が安く、複数のサービス事業を展開しないと採算が合わないこと、そして、高齢者を対象としているヘルパーが障害者を対象にするには、スキルアップが必要なことが挙げられます。	(単位：千円) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,324</td> <td>1,774</td> <td>△450</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>19,698</td> <td>19,698</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>21,022</td> <td>21,472</td> <td>△450</td> </tr> </table> ※人件費は、両年度で同じとする。 ※電算システムを含めた事業費全体 H23 24,119 千円 H24 21,876 千円 差引 2,243 千円	区分	H23	H24	効果額	事業費	1,324	1,774	△450	人件費	19,698	19,698	0	計	21,022	21,472	△450
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	1,324	1,774	△450																	
人件費	19,698	19,698	0																	
計	21,022	21,472	△450																	

■加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

事業番号	事業名／所管課／評価結果	事業仕分け委員等の主なコメント	市の対応方針／今後の事業のあり方	事業費（予算額等）の比較／備考																
2-2	<p>敬老会事業</p> <p>／高齢介護課</p> <p><input type="checkbox"/> 不 要 (1)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 再検討・見送り (3)</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・広域</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市要改善 (1)</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市現行どおり</p>	<p>●高齢社会が進む中で、高齢者が望む事業のあり方を検討すべきである。また、地域の中での実施にシフトすべきである。</p> <p>●限りある財源や人員を弱者に振り向けるためにも、廃止すべき。</p> <p>●地域福祉が重要なため、地域コミュニティ重視の敬老事業へ再構築を。</p>	<p>●24年度に、実施主体をこれまでの市の直営からまちづくり活動地域協議会に移管し、加東市まちづくり活動費補助金交付要綱に基づき補助金を交付します。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>5,433</td> <td>4,653</td> <td>780</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>4,020</td> <td>4,020</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,453</td> <td>8,673</td> <td>780</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費の効果は、平成24年度の実施状況にあわせて、検証する。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	5,433	4,653	780	人件費	4,020	4,020	0	計	9,453	8,673	780
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	5,433	4,653	780																	
人件費	4,020	4,020	0																	
計	9,453	8,673	780																	
2-3 ①	<p>障害児等保育事業 (コーディネーター育成)</p> <p>／子育て支援課</p> <p><input type="checkbox"/> 不 要</p> <p><input type="checkbox"/> 再検討・見送り (1)</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・広域</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (2)</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市現行どおり (2)</p>	<p>●コーディネーター事業は、保育士のスキルアップの面で効果があるとする。3年間を検証し、事業のあり方を考えるべきである。</p> <p>●効果を検証した上で、継続するか拡充するかを決定してください。効果が高いようなら拡充すべき。</p> <p>●効果をしっかり検証した上で実施いただければと思います。事業そのものは、大変良い事業だと思います。</p>	<p>●当初の事業目標である「一貫した支援ができる保育体制の確立」はある程度達成できたと考えますが、保育士等の研修などにより、児童への支援をさらに充実していきます。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>242</td> <td>665</td> <td>△423</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>242</td> <td>665</td> <td>△423</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、コーディネーター育成に含めて、表示する。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	242	665	△423	人件費			0	計	242	665	△423
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	242	665	△423																	
人件費			0																	
計	242	665	△423																	
2-3 ②	<p>障害児等保育事業（補助金）</p> <p>／子育て支援課</p> <p><input type="checkbox"/> 不 要</p> <p><input type="checkbox"/> 再検討・見送り</p> <p><input type="checkbox"/> 国・県・広域</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (5)</p> <p><input type="checkbox"/> 加東市現行どおり</p>	<p>●コーディネーター育成事業と関連した補助金の内容を精査すべきである。</p> <p>●長期的には縮減の方向で、保育士のスキルアップを図りながらコストを下げる方向を模索すべき。</p> <p>●コーディネーター事業との連携や関係をしっかり考えて、決まった割合でずっと補助するのではなく、常に補助率も見直すべき。</p>	<p>●障害児等に対する保育は、保育士のスキルアップにより対応できる部分と、根本的にマンパワーの増が必要な部分とがあるため、交付基準を見直して、適正に補助（交付）していきます。</p> <p>●政策的な経費から経常経費に移行し、枠配当予算の中で、事業費を精査していきます。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>17,740</td> <td>12,528</td> <td>5,212</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>7,308</td> <td>7,308</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25,048</td> <td>19,836</td> <td>5,212</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	17,740	12,528	5,212	人件費	7,308	7,308	0	計	25,048	19,836	5,212
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	17,740	12,528	5,212																	
人件費	7,308	7,308	0																	
計	25,048	19,836	5,212																	

■加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

事業番号	事業名／所管課／評価結果	事業仕分け委員等の主なコメント	市の対応方針／今後の事業のあり方	事業費（予算額等）の比較／備考																
2-4	加東サンサンチャレンジ ／健康課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (4) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり (1)	●事業効果が若干薄くなってきているので、事業を検証し、効果的な事業推進が必要だと考える。 ●事業目的は問題ないと考えます。今後、参加者の費用負担や新たな課題等を、検討ください。 ●参加者数を見ると、ほとんどがリピーターだと考えられる。リピーターから参加費用を徴収してはどうですか。	●「市民みんなで、楽しく、健康に」を目指す健康づくり、生活改善への啓発、きっかけづくりの事業であるため、多くの新規参加者を得るためにこれまでの募集方法を検証し、改善するとともに、継続参加者の中から普及啓発を担うリーダーを育成する仕組みをつくることで、市民大運動を推進していきます。 ●子どもさんさんチャレンジとともに、若い世代へのアプローチについても取り組んでいきます。 ●参加者からの費用徴収については、実施に向けて調整していきます。	(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,572</td> <td>1,469</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,320</td> <td>1,320</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,892</td> <td>2,789</td> <td>103</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	1,572	1,469	103	人件費	1,320	1,320	0	計	2,892	2,789	103
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	1,572	1,469	103																	
人件費	1,320	1,320	0																	
計	2,892	2,789	103																	
2-5	資源ごみ集団回収運動奨励金 ／生活課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り (2) <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input checked="" type="checkbox"/> 加東市要改善 (3) <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	●ごみの減量化を図るのであれば、事業内容を検討し、減量の数値を設定すべきである。 ●開始年度から10年以上やり方を変えていない。ごみの減量のために何が効果的か、400万円をかけて何がベストかを、抜本的に考え直してほしい。 ●目的は良いが、奨励金制度導入の当初目的と異なってきているのではないか。	●ごみ処理施設でのごみ処理費は、1kg当たり20円前後と推計されることから、当該事業により燃えるごみとして処理されずリサイクルされることは、環境面でも経費面でも有効であると考えています。 今後は、自治会での拠点回収や集団回収を推進し、資源ごみ集団回収運動の実施回数3割増を目標に取り組んでいきます。	(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,390</td> <td>4,390</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,390</td> <td>4,390</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H23	H24	効果額	事業費	4,390	4,390	0	人件費	0	0	0	計	4,390	4,390	0
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	4,390	4,390	0																	
人件費	0	0	0																	
計	4,390	4,390	0																	
2-6	交通災害共済事業 ／防災課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り <input checked="" type="checkbox"/> 国・県・広域 (5) <input type="checkbox"/> 加東市要改善 <input type="checkbox"/> 加東市現行どおり	●すでに事務組合で実施しているので、加東市が委託されて実施しなくても良いのではないかと。ネット上の生命保険会社があるように、特に加東市が窓口になる必要もない。 ●加入率などの課題は、組合で問題解決に当たるべき。 ●事故対応も含めて、広域対応への移行が良いのではないのでしょうか？	●共済事業を運営する兵庫県市町交通災害共済組合で制度の見直しが進められ、口座振替や封書での申込みが可能になったことから、従来からの課題であった申込書の取りまとめや掛金の集金などによる地区自治会等の事務の負担や個人情報の取扱などの問題が改善されました。 したがって、高齢者の自転車事故など保険の隙間部分を埋めている当該事業を継続し、市の関与をなくせば加入者（市民）の負担が増すと考えられる請求事務について、これまでどおり市が実施していきます。 ●制度の運営に当たって適宜、組合に見直しを求めていきます。	(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,336</td> <td>516</td> <td>820</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>2,181</td> <td>2,041</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,517</td> <td>2,557</td> <td>960</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、アルバイト賃金を削減 H23 421千円 H24 281千円 差引 140千円</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	1,336	516	820	人件費	2,181	2,041	140	計	3,517	2,557	960
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	1,336	516	820																	
人件費	2,181	2,041	140																	
計	3,517	2,557	960																	

■加東市事業仕分け2011 評価結果に対する市の方針

事業番号	事業名／所管課／評価結果	事業仕分け委員等の主なコメント	市の対応方針／今後の事業のあり方	事業費（予算額等）の比較／備考																
2-7	市税等徴収員及び納税相談員設置事業 ／税務課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 加東市要改善 <input checked="" type="checkbox"/> 加東市現行どおり (5)	<p>●効果が表れているようなので、市職員と徴収員を増員するとともに連携を強化し、滞納の縮減を目指してください。</p> <p>●明確な目標や手段に基づいて取り組んでおられると思います。しかし、未収額が10億円を超える中で、常に状況が変化するとと思われるので、その都度、適切な判断で対応ください。</p>	<p>●現行の取組を継続しますが、滞納は、景気や時代背景により変容し、その時々状況に合った対応が必要になりますので、常に滞納状況を統計的に分析し、徴収コストを勘案しながら、対象者や事業内容を見直していきます。</p> <p>●事業(費)の拡大(拡充)については、約2か月程度で一巡する滞納件数や、適切な時期に催告するための過去の交渉経緯や納付状況を踏まえた対象者のリストアップなどに要する職員数からすれば、現在の事務量が最大限であり、効率的であると考えています。</p> <p>また、事業の拡大よりも、滞納状況の変容に合わせて事業内容を工夫していくことが先決であると考えています。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>2,814</td> <td>2,752</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,680</td> <td>1,680</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,494</td> <td>4,432</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	2,814	2,752	62	人件費	1,680	1,680	0	計	4,494	4,432	62
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	2,814	2,752	62																	
人件費	1,680	1,680	0																	
計	4,494	4,432	62																	
2-8	生活道路整備補助金 ／土木課 <input type="checkbox"/> 不 要 <input type="checkbox"/> 再検討・見送り <input type="checkbox"/> 国・県・広域 <input type="checkbox"/> 加東市要改善 (2) <input checked="" type="checkbox"/> 加東市現行どおり (3)	<p>●今後、維持補修が増える中で、補助すべき対象の優先順位や補助率を検討すべきだと思われる。</p> <p>●補修に関する事業計画を立ててみてはいかがでしょうか。</p>	<p>●市の補助要綱で、補助金交付後10年間は補助対象外とし、10年経過後の対応については、対象道路の劣化度と補助年度から優先順位を付けて、整備します。</p> <p>●補助という性格上、補助率が2分の1を超えるのは好ましくなく、低率の場合は補助の必要性そのものに疑問が生じると考えています。また、1箇所当たり20万円以上の最低制限額を規定しています。</p> <p>●あくまでも事業主体は地元自治会のため、予測に基づく事業計画の策定は困難ですが、毎年度の予算額をある程度固定し、事業費を平準化していきます。</p>	<p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>効果額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>2,000</td> <td>3,000</td> <td>△1,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>766</td> <td>766</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,766</td> <td>3,766</td> <td>△1,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人件費は、両年度で同じとする。</p>	区分	H23	H24	効果額	事業費	2,000	3,000	△1,000	人件費	766	766	0	計	2,766	3,766	△1,000
区分	H23	H24	効果額																	
事業費	2,000	3,000	△1,000																	
人件費	766	766	0																	
計	2,766	3,766	△1,000																	